

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市岩切児童館
2	指定管理者	特定非営利活動法人みやぎ・せんだい子どもの丘
3	指定期間	平成29年4月1日から令和4年3月31日まで
4	施設の利用状況	《利用者数》 34,977人 (前年度比 97.6%) 平成29年度 35,840人 平成28年度 43,672人 平成27年度 53,244人
		《事業》 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業
5	収支の状況	《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 59,376千円 (58,248千円) ()は前年度決算額 ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円)
		《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)
6	利用者の声	《実施状況》 利用者アンケート、児童館運営委員会、児童クラブ保護者会を実施。

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	23/23
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、facebookの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、クラブ別の児童クラブ通信を発行するとともに、全員を対象とした個別面談等で、日常の遊びや生活の様子を伝え、保護者との連携に努めている。保護者会が組織されており、保護者会主催の行事等は、親子の交流や保護者同士の交流の場となっており、参加者も多い。学校との連携もよく図られており、日常的・定期的な情報交換のほか、学校職員が児童館を訪れることもある。	18/18

三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み	評価すべき理由
加点評価	—

四 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人みやぎ・せんだい子どもの丘）による自己評価》	
<p><健全育成事業> 子どもの参画を強く意識しながら活動を行った1年だった。事業の実施だけではなく、子ども達にとって児童館が居場所となるよう、来館する子どもたちがフラッと立ち寄れるような児童館づくりを心がけた。新学期や夏休みなどは中学生が立ち寄るなど、児童館が用事がなくても立ち寄れるような場所になっていると感じている。</p> <p><子育て支援事業> プレママ・プレパパ広場の参加は少し増えたが、プレママ・プレパパのニーズにはまだ合致していないと感じており、さらなる検討が必要と思っている。子育てネットワークでは、「わいわい広場」や「会議」などにおいて各機関と地域課題を共有しており、課題解決へのヒントを会議の中でたくさん得ることができた。地域保育所との交流も日常的に行った1年であった。</p> <p><地域交流事業> 岩切特産のまがりねぎを題材にしたダンスは地域に広まっており、今年も地域のお祭りに呼ばれ大好評を博した。JAに作成してもらったユニフォームでPTAフェスティバルに参加したところ、他の地域のPTAから、「岩切さんは勢いがあるね」とお褒めの言葉をいただくことができた。また、平成31年度に向けて包括支援センターと一緒にまがりねぎのダンスをさらに発展させていく一歩を踏み出すことができた。</p> <p><児童クラブ> サテライト・タイムシェアにおいて各クラブの特徴を生かし、日常の積み重ねを大切にしながら、個別・集団の中で子どもと関わりを持ってきた。今年度は、「地域で生きる子どもたち」がテーマであり、地域活動にも参加。戸外活動、親子事業等を通して、子どもの遊びや頑張り、普段の様子を伝え、保護者とも楽しさを共有することができた。個別に対応する事例などには、保護者の思いも汲みながら相談事業を行った。</p>	
《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>地域との継続した関わりを大事にしながら児童館運営に取り組んでいる。</p> <p>岩切子育てネットワークの一員として、幼稚園、保育所、子育てサークル、保健センター、市民センター等、岩切地区の子育て支援団体と情報を共有しながら子育て家庭支援にあたりるとともに、児童館発行の「いわきり 子育て情報誌」の改訂を行い、最新の子育て情報を届けている。赤ちゃんサロン、遊びの広場、育児講座等を定期的に開催し、親子で楽しさを体験できる活動や母親同士の交流の場を提供している。参加者の要望を受け、平成30年度は「プレママ・プレパパひろば」に参加しやすい土曜日にも設定している。子育て支援を様々な諸団体等と連携して行うとともに、児童館が地域の子育ての拠点としての役割を果たしており、評価できる。</p> <p>児童健全育成事業では、豊かな自然を活かした田んぼや河原での遊び、メンコ等の昔遊び、季節に応じたこいのぼりや七夕づくり等、多様な遊びを提供し、「遊び」の充実を図っている。また、子どもの自発的活動を継続的に支援しており、平成30年度は、自由来館児童の「子どもボランティア」と児童クラブ登録児童の「プレボランティア」が、お話し会、こどものまち、ハロウィン、いわきりフェスタ等の行事を自主的に企画運営する活動を行っている。</p>	S

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進室